

岐阜県中山間農業研究所ニュース

2014年度 第3号

本 所 〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重2-6-56
TEL: 0577-73-2029 FAX: 0577-73-2751
E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp
中津川支所 〒509-9131 岐阜県中津川市千旦林鍛冶屋平643-1
TEL: 0573-68-2036 FAX: 0573-68-3116
E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp
<http://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>



©岐阜県

8月の悪天候を乗り越え、今年も収穫の秋を迎えました。私どもの試験研究も終盤となり、いよいよこれから試験の結果が明らかとなってきます。生産者に使っていただけの成果として発信できるよう、後半もがんばって参ります。

● 飛騨特産山ぶどうを使った新商品開発を目指して

ヤマブドウは昔から山の幸として食されてきました。現在は飛騨山ぶどう研究会を中心に栽培が広がり、主にワインに加工され販売されています。また、ヤマブドウには、生活習慣病予防に有効な体により成分が多く含まれています。

そこで、当研究所では飛騨山ぶどう研究会や飛騨高山高校山田校舎と協力して、ジュース、ジャム、ゼリー、アイスクリームなどヤマブドウを原料に使った新しい商品開発に取り組んでいます。



● 岐阜県オリジナルのクリ新品種「えな宝来」、「えな宝月」を育成

中津川支所では、菓子加工業者や生産者からの強い要望を受け、『栗きんとん』の加工に適したクリの新品種「えな宝来(ほうらい)」と「えな宝月(ほうげつ)」を育成し、品種登録出願しました(出願番号第29003号、第29004号)。

「えな宝来」は、育成地の中津川市で8月下旬から収穫できる極早生品種で、9月上旬の『栗きんとん』発売に向けた出荷が可能です。蒸した時の果肉の色が黄色くホクホクとした食感で、『栗きんとん』の加工に適しています。加えて、

加熱すると渋皮が剥けるため、焼き栗用としても利用できます。

「えな宝月」は、早生「丹沢」と中生「筑波」の中間に収穫できる早生品種で、蒸した時の果肉の色が濃い黄色で、甘味が多く、ホクホクとした食感で食味がよく、『栗きんとん』の加工に適しています。

本年12月から、県内のくり生産協議会へ苗木を供給できるよう準備を進めています。



● ホウレンソウの移植栽培で年間作付け回数を増加

飛騨地域の夏ホウレンソウは直播きによる連続栽培体系が概ね完成しており、1年に4～5回の栽培が行われています。当研究所では、更なる作付け回数の増加を目指し、在圃期間を短縮することができる移植栽培について検討しています。昨年は簡易移植器を用いて年7回の栽培を行いました。今年は移植作業の省力化を図るため、生物系特定産業技術研究支援センター（生研センター）と連携し、セル苗の機械移植栽培に取り組んでいます。



● 8月下旬に試験研究中間検討会を開催しました。

毎年恒例の中間検討会を8月26日（本所）、8月28日（中津川支所）の両日に無事開催することができました。両日も時折小雨に見舞われるなど、あいにくの空模様となりましたが、多くのご意見を頂くことができ、有意義な検討会となりました。いただいたご意見・ご質問等を踏まえて、より生産者のためになる成果を目指して参ります。多くのご出席をいただきありがとうございました。

